



秋田県産業技術センター

平成27年度成果報告会 & 一般公開

場所：秋田県産業技術センター 高度技術研究館 視聴覚研修室 他
 日時：平成27年7月3日（金） 一般公開 10:30～12:00
 成果報告会 13:00～17:00

秋田県産業技術センターでは、県内産業を外貨獲得型の構造にして一層の雇用確保を実現するため、秋田の強みを活かした売れる技術・製品を産み出す施策を展開しております。

特に市場動向や企業ニーズに対応した「輸送機」、「電子デバイス」、「医療機器」、「環境・エネルギー」の事業分野別4本柱に再構築し、また、研究員自らが提案型技術営業を行う「技術支援加速化事業（通称：技術コンシェルジュ事業）」による技術支援体制の強化を図り、「売れるものづくりクラスター」の形成を目指しています。

今年度は、最近注目されている3Dプリンターに関する基調講演、成果報告、企業による当センター保有技術等を活用した開発成果品のブース出展（最近、商品発表した機器の展示等）、一般公開を実施しますので、是非、ご来場いただき、今後の企業活動にお役立ていただければ幸いです。

秋田県産業技術センター 一般公開

研究室等を巡りながら、研究テーマ等を紹介します。併せて、最近導入した設備もご覧いただけます。

（これらの設備は、外部の方も利用できます。）

秋田県産業技術センター 成果報告会

【プログラム】

プログラムの詳細は、裏面を参照ください。

【会場案内】

産業技術センター 高度技術研究館（秋田市新屋町字砂奴寄4-21）

※地図などの詳細はホームページをご覧ください。（<http://www.rdc.pref.akita.jp/>）

※お問い合わせ先 TEL:018-862-3420 技術イノベーション部 松倉

【参加お申し込み】

※下欄にご記入のうえ6月30日（火）までに、FAX または E-mail によりお申し込みください。

FAX: 018-865-3949、E-mail: matsu@rdc.pref.akita.jp、松倉 宛

一般公開への参加者は、高度技術研究館1階ロビーへ10:20までにお集まりください。

お名前	ご所属	ご連絡先 (電話または E-mail)	一般公開 (参加 :○) (不参加:×)	成果報告会 (参加 :○) (不参加:×)

主催：秋田県産業技術センター（<http://www.rdc.pref.akita.jp/>）

成果報告会プログラム

司会 技術イノベーション部長 佐藤 明

1 13:00～13:20

《 産業技術センターのH26年度実績概要とH27年度方針説明 》

秋田県産業技術センター所長 鎌田 悟

2 13:20～14:00

《 基調講演 3Dプリンターの最新動向 》

株式会社コイワイ代表取締役社長 小岩井 豊己 氏

3 14:00～15:40

《 成果報告 開発部のイチ押し技術と活用事例 》

(1) 液晶技術・機構設計技術・光学技術

電子光応用開発部長 小笠原 雄二

(2) 非接触攪拌技術・3Dプリンター活用技術・CFRP成形技術

素形材プロセス開発部長 沓澤 圭一

(3) 熱電変換素子・非接触給電技術・電界マッピング技術

先端機能素子開発部長 高橋 慎吾

4 15:40～17:00

《 技術商談会 》

(1) ブース展示

当センターの技術や共同研究等を活用し「ものづくり」を行った企業が、その成果品等を展示します。

出展企業と成果品

(株)大日向:電照菊用直流照明、(株)アクトラス:点滴センサー、(株)スマートセンシング:焦点可変薄型液晶レンズ、小林無線工業(株):超音波霧化ノズル(Sonic Jet Atomizer)、秋田エプソン(株):電界攪拌染色装置(ラポート)、(株)ミヤギタノイ:切削負荷分散型複合材用穴あけ工具、秋田未来(株):3Dプリンターを活用した手関節固定具、(有)開商・川村鐵工(株)・(株)ダンレイ:高機能炭酸泉混合装置、東光鉄工(株):CFRP 製水車の成形用金型、(株)東洋ドリル:資源戦略型超硬工具材料、アルファ・エレクトロニクス(株):超精密薄膜抵抗器、日東光器(株)・(有)ブイテックス:高性能反射対物鏡、(株)八森電子デバイス:非接触給電付水素水生成器

(2) ポスター展示

当センターは、秋田県産業の活性化と持続的な発展を図るため、技術面からサポートする『技術のシンクタンク』として活動しています。活動の基盤となる独自の要素技術や事業成果等をポスター展示し、担当職員がご説明します。この機会にお立ち寄りいただき、センター保有の技術や支援サービス等を是非ご活用ください。

【参考】株式会社コイワイの紹介

同社は、鑄造技術をコア技術とし、RP 砂型積層工法による各種鑄物の試作、金型鑄造の製造、鑄造用金型・樹脂型製作、3D-CAD によるモデリング業務等を業務としており、同時に、3Dプリンターを活用した技術開発にも取り組んでいます。

(一部、ホームページより抜粋)